

都市再生整備計画 事後評価シート
地域拠点小坂井地区

令和6年3月

愛知県豊川市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	豊川市		地区名	地域拠点小坂井地区			面積	325.7ha		
交付期間	令和元年度～令和5年度		事後評価実施時期	令和5年度		交付対象事業費	1,628.9	国費率	0.295				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	公園(菟足神社貝塚公園、小坂井中央公園) ・地域生活基盤施設(文化財説明板) ・高次都市施設 地域交流センター(小坂井地域交流会館)			事業名						
			提案事業	地域創造支援事業(小坂井地域交流会館整備、安全・安心事業) ・事業活用調査(事業効果分析調査事業)									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	-			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
			提案事業	-			-			-			
	新たに追加した事業		基幹事業	公園((仮称)宿伊奈1号公園)			宿伊奈土地区画整理地内において公園を整備することで市民の憩いの場、交流の場を提供するため。			当初から関連事業として計画されていた宿伊奈土地区画整理地内の事業であり、目標等には影響しない。			
			提案事業	-			-			-			
交付期間の変更		当初	令和元年度～令和5年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-					
		変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	指標1	地区内人口の維持	人	21,172	H30	21,172	R5	20,849 (R3)	21,728 (R5時点)	○	あり	関連する公園事業や地域交流会館の整備事業等のほか、関連事業の宿伊奈地区土地区画整理事業や豊川市拠点地区定住促進事業費補助金等による生活環境の改善や定住の促進が図られたことにより、人口の維持につながったものと考えられる。	令和6年度
	指標2	地区内の公共施設維持管理費の減少	千円	35,473	H30	15,239	R5		26,003 (R5時点)	△	あり	関連する高次都市施設の整備の他、地域創造支援事業(小坂井地域交流会館整備)として、児童館・図書館が整備され、老朽化が進む公共施設が集約されたことで目標値の達成には至っていないものの、従前値に比べ改善が図られているため、地区内の公共施設維持管理費の減少につながっていると考えられる。	-
	指標3	安全・安心分野に関する市民満足度の向上	ポイント	-21	H29	675	R5	84 (R3)	655 (R5時点)	△	あり	関連する公園事業により、一時的に避難できる場所として活用可能な公園が整備され、地域創造支援事業(安全・安心事業)として、道路照明灯、反射鏡、防犯灯等の整備が行われたことで、目標値の達成には至っていないものの、令和元年度にかけて下降傾向であった満足度は、令和元年度から開始された事業を受けて、令和3年度には上昇に転じているため、安全・安心分野に関する市民満足度の向上につながったものと考えられる。	令和7年度
指標4	建設・整備分野に関する市民満足度の向上	ポイント	-193	H29	271	R5	-195 (R3)	750 (R5時点)	○	あり	関連する公園事業や地域交流会館の整備事業のほか、関連事業の宿伊奈地区土地区画整理事業が実施され、地域住民にとって身近な都市基盤が整備されたことにより、建設・整備分野に関する市民満足度の向上につながったものと考えられる。	令和7年度	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
その他の数値指標1	小坂井地域交流会館の利用状況	人	82,375	H30				108,754 (R5時点)				関連する高次都市施設の整備が公共施設維持管理費の減少の他、地区内の住民の交流にも良好な効果を及ぼしていると考えられる。	-
その他の数値指標2	地区内の交通事故・犯罪の発生件数の推移	件	242	H30			127 (R3)	122 (R5時点)				地域創造支援事業(安全・安心事業)などの関連する事業により地区内の交通事故件数は減少傾向にあり、市民の安全・安心に寄与していると考えられる。	令和7年度
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 公園が整備されたことにより、市民の環境美化に対する意識啓発に繋がっている。 新たな住民を含めた地域住民による活動やイベントが開催されるなど、地域のにぎわいに繋がっている。 												
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	中間年(令和3年度)に事業の進捗状況、指標の状況を確認			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	モニタリングと同様の方法でデータ収集を実施し、円滑な事後評価を実施した。			
	官民連携による取組	公園の整備に際し、住民参加として地元町内会と連絡を取り合う中で、公園に必要な機能や施設、公園と地域の関わり方、運営方法などに対する意向を把握しながら検討を実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	地元町内会による管理の実施に繋がっていく。			
持続的なまちづくり体制の構築	・ボランティア・市民団体による防災・防犯及び環境美化の活動を実施 ・神社や地区内の商店主等を中心としたイベント(うたりマルシェ)を開催			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	地域住民や組織による活動やイベントの開催が継続され、地域活動の活性化やにぎわいの創出に繋がるよう、支援を行う。				

様式2-2 地区の概要

地域拠点小坂井地区(愛知県豊川市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 世代を超えて地域住民が交流するまちづくり		地区内人口の維持	単位: 人	21,172	H30	21,172	R5	21,728	R5
目標1 地域拠点到にふさわしい、コンパクトで魅力あふれる都市空間の形成		地区内の公共施設維持管理費の減少	単位: 千円	35,473	H30	15,239	R5	26,003	R5
目標2 安全・安心に暮らし続けられる生活環境づくり		安全・安心分野に関する市民満足度の向上	単位: ポイント	-21	H29	675	R5	655	R5
目標3 世代間の交流の場となる基盤の整備		建設・整備分野に関する市民満足度の向上	単位: ポイント	-193	H29	271	R5	750	R5



■ 菟足神社貝塚公園



□ 道路照明灯



■ 文化財説明板



□ 反射鏡



■ 小坂井地域交流会館(葵風館)



□ 防犯灯



○ 関連事業
区画整理事業: 宿伊奈土地区画整理事業
【地域拠点の定住人口の維持を図るための基盤整備】

□ 提案事業
地域創造支援事業: 安全・安心事業

□ 提案事業
事業活用調査・事業効果分析調査事業
【事業効果分析調査】

■ 基幹事業
公園: (仮称)宿伊奈1号公園

○ 関連事業
伊奈駅東西連絡橋エレベーター整備事業

■ 基幹事業
高次都市施設(地域交流センター): 小坂井地域交流会館(生涯学習施設)

■ 基幹事業
公園: 小坂井中央公園

■ 基幹事業
地域生活基盤施設(情報版): 文化財説明板

○ 関連事業
定住促進子育て支援事業(児童クラブ室整備)

■ 基幹事業
公園: 菟足神社貝塚公園

○ 関連事業
豊川市拠点地区定住促進事業費補助金
豊川市都市機能立地促進事業費補助金

凡例
計画区域
都市機能誘導区域

凡例
■ 基幹事業
□ 提案事業
○ 関連事業



■ 小坂井中央公園



■ (仮称)宿伊奈1号公園

まちの課題の変化

- 公園の整備によって一時的に避難できる場所が確保されることで地域の防災性が向上し、災害に対する安全性・安心感が高まった。
- 道路照明灯、反射鏡、防犯灯等の整備によって自動車の通行や歩行者の安全性、防犯に対する安心感が醸成された。
- 地域住民が気軽に利用できる公園の整備によって、散歩等の健康づくりの促進につながった。
- 公園整備によって地域の子どもの遊び場が整備されたことや道路照明灯、反射鏡、防犯灯等の整備によって自動車の通行や歩行者の安全性、防犯に対する安心感が醸成されたことで、子育て世帯にとって暮らしやすい住環境の整備に貢献した。
- 子育て世帯のニーズを踏まえた地域の子どもの遊び場となる公園の整備や小坂井地域交流会館内の児童館等の整備、関連事業の定住促進子育て支援事業による児童クラブ室の整備等により、住民満足度の向上につながった。
- 小坂井地域交流会館の整備により、幅広い世代が交流することができるようになり、地域の居住人口の維持及び地域コミュニティの形成につながった。
- 老朽化した公共施設の再編により、公共施設の維持管理費の削減が図られた。

■ 事業実施後の状況を踏まえた今後の課題

- 公園事業や安全・安心事業の実施により、安全・安心分野に関する市民満足度の向上はみられたものの、目標は未達成であり、引き続き地域の安心・安全の向上を図る必要がある。
- 公園や小坂井地域交流会館が整備されたことで、これまでより多くの高齢者や子どもの利用が想定されることから、交通事故や犯罪から利用者を守るため、安全・安心に係る取組みの展開が求められる。
- 人口が増加したことを踏まえ、新たな居住者と従来からの居住者のつながりの形成を促進するとともに、小坂井地域交流会館の利用者の増加を図り、住民の交流を促進することが求められる。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 宿伊奈土地区画整理事業による新たな居住者の増加が見込まれることから、小坂井地域交流会館でのイベント等の実施によって地域コミュニティの形成を促進することで、整備された公園や道路等地区内の施設の適切な維持管理が、地元町内会を中心とした地域で行われるよう支援を図り、愛着を醸成する。
- 整備された公園を活用した防災訓練等の実施を支援し、地域の防災力を強化する。
- ボランティア・市民団体が実施している防犯活動の実施を支援し、地域の治安の維持を図る。
- 公園の利用者の安全・安心を向上するため、ボランティア・市民団体による見回り等の支援を図る。
- 公園や小坂井地域交流会館周辺の道路、歩道について、見通しの確保や照明灯の設置、カラー舗装の塗布等の整備を行うことで、利用者の安心・安全の向上を図る。
- 小坂井地域交流会館の活用を促進することで、利用者数の増加を図り、住民の交流機会の増進に努める。